

## 特集 第8回通常総代会



SNSで  
旬な情報を  
投稿して  
います



# 特集 - 2022 -



今年で8回目を数える通常総代会を6月26日(日)、松江市の島根県民会館で開催しました。

昨年に続き、新型コロナウイルスの感染症対策として書面での決議を推奨し、当日は、総代定数1,000人(欠員10人)に対し、966人(本人出席45人、書面議決921人)が出席。議長団に、村上義成総代(隠岐地区本部)、天野猛総代(いわみ中央地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和4年度は、第3次中期経営計画、第3次農業戦略実践3カ年営農計画がスタートする年。JAしまねの10年後を見通し、持続可能な農業の実現、豊かでくらしやすい地域共生社会の実現、協同組合としての役割発揮の3つのスローガンのもとに、先の3年間役職員一丸となって頑張っていきたい。そのためには何よりも盤石な経営基盤を確立することが必要。これまで取り組んできた信用共済事業、営農経済事業の改革をさらに進め取り組んでいく」とあいさつしました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において石川寿樹組合長の再任が決定しました。

また今回、飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後、この決議に基づき、農家経営の維持、再生産が可能となるよう、行政・関係機関と連携しながら農業経営への影響を緩和する支援策に継続して取り組むとともに、消費者が求める安全・安心な島根県産農畜産物の安定供給に向け一層取り組みを強化していきます。



石川寿樹 代表理事組合長



議長団 村上義成 総代(左) 天野猛 総代(右)

### 飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議

新型コロナウイルスの影響による物流の混乱や深刻化するウクライナ情勢等により、世界的に食料や資源の需給が逼迫しており、こうした食料や資源の多くを海外に依存するわが国の食料安定供給は危険にさらされている。

こうしたなか、生産現場では、農業生産に必要な飼料・肥料等の生産資材価格の高騰が急激に進行し、農業経営の厳しさが増している。この状況が続けば、安定生産に支障をきたす危険な状況に繋がりがかねないほか、離農を余儀なくされる農業者が出現する恐れもあり、なんとしてもこの難局を乗り越えなくてはならない。

私たちは島根の農家・農村を未来の後継者へ自信を持って引き継ぐ義務があり、また、将来にわたって安全・安心な島根県産農畜産物を消費者に提供していく責任がある。

本総代会を契機として、農業者と関係者が一体となって、島根の農家・農村を守るために、次の取り組みを強力に推進する。

#### 記

1. 飼料・肥料等生産資材価格の高騰対策について、農家経営の維持、再生産が可能となるよう、行政・関係機関等に対し実効ある対策を引き続き求めていくとともに、JAしまねとしても農業経営への影響を緩和する支援策に継続して取り組む。
2. 農業者は、既に生産コストの低減に努めているところであるが、更なる生産コストの低減と経営効率化を目標とし、JAしまねは行政・関係機関と連携した取り組みを強力に推進する。
3. JAしまねは消費者が求める安全・安心な農畜産物の安定供給に一層努めるとともに、地産地消を柱とした島根県産農畜産物の更なる消費拡大に向け、関係機関が一体となった取り組みを強化する。

以上、決議する。

令和4年6月26日

第8回 島根県農業協同組合 通常総代会

# 第8回 通常総代会

## 令和3年度 事業報告

令和3年度は、長引くコロナ禍の影響により、昨年続き、外食の自粛、インバウンド需要の減少に伴う農畜産物の需要減少、式典やイベントの自粛に伴う花弁の需要減少、移動制限に伴う観光関連収入の減少などが継続・拡大し、米価の下落や生乳の生産抑制等農業・農村地域に多大な影響が出ました。

鳥根県内の経済においては、まん延防止等重点措置解除後の個人消費や雇用情勢持ち直しなど、全体的には緩やかに回復の兆しが見受けられますが、依然として先行不透明な状況が続いています。

農業情勢においては、春から夏にかけての低温・降霜被害、7月・8月の豪雨被害等により各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、11月に発生した鳥インフルエンザが9県で15事例(令和4年2月時点)発生しており、災害復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

JAグループにおいては、10月に開催した第29回JA全国大会で、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」―不断の自己改革によるさらなる進化―を決議し、次の10年に向かって引き続き「不断の自己改革」を着実に実践していくこととしていきます。



高木賢一 代表理事専務



山根盛治 代表理事副組合長

こうした状況の中、令和3年度は、「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が382億5,200万円、購買品供給高が285億5,700万円、貯金残高が1兆111億6,900万円、貸出金残高が2,794億円、長期共済保有高が3兆457億4,500万円、貸出金残高が2,794億円、長期共済保有高が3兆457億4,500万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.42%となりました。

収支面については、事業利益が5億7,500万円、経常利益は19億1,100万円、当期剰余金は6億7,500万円となりました。主要な事業活動と成果の詳細については次のページのとおりです。

貯金残高	1兆111億6,900万円
貸出金残高	2,794億円
長期共済保有高	3兆457億4,500万円
自己資本比率	13.42%
事業利益	5億7,500万円
経常利益	19億1,100万円
当期剰余金	6億7,500万円
販売品販売・取扱高	382億5,200万円
購買品供給高	285億5,700万円



投票風景

【議案】  
本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

第1号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分案について

第2号議案 第3次中期経営計画(令和4年度)令和6年度)の設定について

第3号議案 第3次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について

第4号議案 令和4年度事業計画の設定について

第5号議案 役員選任について

第6号議案 定款の一部変更について(特別決議案)

第7号議案 規約の一部変更について

第8号議案 経営基盤強化積立金規程の一部改正について

第9号議案 「特定非営利活動法人フードバンクしまね」の設立及び加入について

第10号議案 「協同組合YADDO 知夫里島」への加入について

第11号議案 令和4年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について

第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について

第13号議案 退任監事に対する退職慰労金の支給について

第14号議案 令和4年度における理事の報酬額の決定について

第15号議案 令和4年度における監事の報酬額の決定について



# 令和3年度 主な事業活動と成果

令和3年度は、「第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画」の最終年度として、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

## 販売事業

米穀は令和3年産の島根県における水稻の作況指数が100（前年99）となり、主食用の収穫量は86,000 tで、前年産比200 tの増となりました。また、3年産米の集荷数量は令和4年3月末現在で35,112 tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.1%、前年対比では103.1%となりました。

## 園芸

島根ぶどうが、販売面でフォトコンテスト等SNSを活用した消費宣伝を行ったことや単価の高い早い時期への出荷誘導を行ったことにより、kg単価において過去最高の1,401円（税別）となりました。また、西条柿は、生果・あんぼ柿ともにkg単価は前年を上回りました。



## 畜産

コロナ禍による自助努力で回避できない大きな問題が次々と畜産経営に影響を与えるなか、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、販路拡大に取り組みました。

## 信用事業

貯金の大宗を占める個人貯金について、総合事業体であるJAの特性を活かし、「しまね和牛」をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、農業資金において「令和3年度大雨・台風農業被害対策資金（県制度資金）」「令和3年度稲作経営安定緊急対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、被害を受けられた農業者の支援に取り組みました。

## 共済事業

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組みるとともに、「JAしまねこども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

## くらしの活動

コロナ禍で活動に制限はありましたが、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みをすすめました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用し、研修や学習活動をすすめました。







# 令和4年度 事業方針

## 指導事業

### 農業振興

「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第2次計画での成果と課題を踏まえ施策に修正を加えながら、「農業所得の確保」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に、全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対して積極的な支援・活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を推進します。

### 重点実施事項

- ① 次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信
- ⑥ 営農指導・生産振興での生産者貢献
- ⑦ 農業振興支援事業の実施

⑧ 島根県産農産物の安全・安心への取り組み

⑨ 農業労働力確保対策

⑩ 将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

## くらしの活動

活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動として、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「JAしまねくらしの活動」に取り組み、活動を通じた組合員・地域住民の連携強化によって地域活性化を促し、持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。また、アフターコロナにおける新様式での取り組みを展開します。

## 販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

## 購買事業

### 生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

### 生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

## 信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルティング機能を提供し、農業・くらし・地域に寄り添う金融仲介機能を発揮します。

## 共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・地域社会とより広く・深く・長く「繋

がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、新たな生活様式への対応を加速させ、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。





## 第8回 総代会 Q&A



### 【Q1】

次年度に向けてのことであるが、肥料・飼料・燃油の高騰等も入れて、水稻の品種ごとに加工用米、飼料用米等がそれぞれ最終計算で収入がいくらになるのか計算をしていただき、その一覧表を基にJAしまねとして稲作を今後どう導いていくのか支店単位での説明会を開くなど、早急な取り組みをお願いしたい。

### 回答)

今年度の冬季座談会に向けて、水稻は品種別に試算した収支一覧表、またWCS稲、飼料用米、加工用米の収支一覧表を作成し、農家の方へ説明したいと考えています。

### 【Q2】

酪農業を営んでいたが、円安やウクライナ問題など、酪農業を取り巻く環境は悪化しており、廃業を決意した。総代会資料には「出向く営農支援の強化」とあるが、本当に強化が行われているのか。また、私どものように続々と廃業が出るのではないかと大変心配している。どのような状況なのか認識いただきたい。

### 回答)

酪農家に対する「出向く営農」は、地区本部と本店で連携し体制強化に取り組んでおります。酪農における急激な情勢悪化は、現行制度の限界を超えた状況であり、生産者組織とJA・関係組織と連携し、市町村および島根県への要請活動に取り組んでおります。今回の窮状は、個々の酪農家・それぞれの組織で解決できる範囲を超えている事から、更なる対策が早急に必要だと認識しており、全国組織を通して緊急要請を実施し、国に対し緊急支援を求める事としております。

### 【Q3】

各地区本部別の損益制度について、メリット・デメリットを検証し、できるだけ早い段階で一定の結論を得ると謳ってあるが、メリットはある程度理解できるがデメリットについても組合員に対して分かりやすく説明をお願いしたい。

### 回答)

地区本部制（地区本部損益管理）は、地区の独自性が認められる反面、地区本部の枠を超えた人材活用、地区本部と県域全体方針との調整に時間を要すること、また地区本部間の取り組み格差等の課題があります。収益環境が厳しくなる中、10年後を見据えた地区本部制のあり方を検討し、なるべく早期に方針を決定します。

### 【Q4】

広域指導体制の構築ということで、指導員の育成や農業技術の確立に組織一丸となって推進するということが述べられているが、畜産指導員や園芸指導員は特別な分野の仕事だと思うので、ぜひ拡充して広域体制で指導していただきたい。

### 回答)

広域指導体制の構築に向けて現在、原案をもとに地区本部を巡回し、意見を集約しています。東西200km以上・隠岐の4島も含むJAしまね管内で、効率的な体制整備の実施案をまとめていきます。

### 【Q5】

JAしまねにおける不断の自己改革とは、最終的にはどうしているのか。

### 回答)

JAしまねにおける不断の自己改革の目的については、農業振興が最大の目的であり、これを実現するための経営基盤強化に引き続き取り組みます。

この他にも幅広くご意見をいただきました。

## 組合長あいさつ



代表理事組合長 石川 寿樹

組合員の皆様には、平素よりJAしまねに対し、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

6月26日に開催した通常総代会後の理事会において、代表理事組合長に引き続き就任させていただきました石川でございます。大役の責任を改めて痛感すると同時に、全力で職務を全うする所存でございます。

さて、新型コロナウイルスが世界規模で蔓延し約2年半が経過しますが、未だ収束の兆しが見えておりません。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻など世界経済は更に不安定さを増し、国内農業へも深刻な影響を及ぼしています。管内においても、人口減少や高齢化、担い手不足による農業生産基盤の脆弱化や、信用共済事業の収益減少などによる経営基盤の弱体化が進むなど、年々厳しさを増しております。

このような状況のなか、JAしまねでは「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を10年後の「めざす姿」とし、実現に向け役職員一丸となり取り組んでまいります。

また、令和4年度は「第3次中期経営計画」「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」のスタートの年であります。先に述べましためざす姿の実現に向け、「持続可能な食料・農業基盤の確立」「持続可能な地域・組織・事業基盤の確立」「不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化」「協同組合としての役割発揮を支える人づくり」「『食』『農』『JA』にかかる県民理解の醸成」の5つを重点的に実行してまいります。

特に営農部門では、当面の米価低迷・生産資材の高騰等、営農継続の危機突破に全力で取り組みながら、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」のため販売高411億円を目標に、園芸重点推進6品目の産地拡大、新規就農者の確保・担い手育成などに取り組んでまいります。

また、農林水産省が昨年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」への対応も重要な課題の1つであり、有機農業の拡大や化学肥料・化学農薬の削減など、環境にやさしい農業の実現に向け、行政機関と連携して研究・普及を図ってまいります。

一方で、こうした事業を着実に実践していくためには、何よりも盤石な経営基盤を確立する必要があります。そのため、これまで取り組んできた信用共済事業、営農経済事業の改革を引き続き進めてまいります。

特に営農経済事業につきましては、集出荷施設の整備や営農指導体制の広域化を図り、専門性の高い部門である農機事業や自動車燃料事業においては事業方式の見直しを検討してまいります。

結びに、組合員の皆様には、引き続き変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。





# 新役員紹介

JAしまねの発展につとめてまいります。  
よろしくお願い致します。



常務理事  
(企画管理)  
田中 徹



常務理事  
(信用、共済)  
竹下 克美



代表理事専務  
(リスク管理、総務、人事)  
日高 光弘



代表理事副組合長  
(営農、経済)  
山根 盛治



代表理事組合長  
石川 寿樹



くにびき地区本部  
常務理事 本部長  
越野 浩昭



理事  
寺本美貴子



理事  
三島 明美



理事  
高橋美佐子



理事  
古川 敬



やすぎ地区本部  
理事  
上廻 達矢



やすぎ地区本部  
常務理事 本部長  
中尾 武



くにびき地区本部  
理事  
諏訪 智子



くにびき地区本部  
理事  
福井 繁久



くにびき地区本部  
理事  
菅井 一



隠岐地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木賢治



雲南地区本部  
理事  
戸田 雅之



雲南地区本部  
理事  
藤原 政文



雲南地区本部  
理事  
岩田 孝史



雲南地区本部  
常務理事 本部長  
源 之美



出雲地区本部

理事  
小村 伸治



出雲地区本部

理事  
藤江美由紀



出雲地区本部

常務理事 副本部長  
坂本 満



出雲地区本部

常務理事 本部長  
珍部 誠



隠岐どうぜん地区本部

常務理事 本部長  
蛭子 郁夫



斐川地区本部

理事  
青木 広幸



斐川地区本部

常務理事 本部長  
山根 善治



出雲地区本部

理事  
高野 智子



出雲地区本部

理事  
山本 直樹



出雲地区本部

理事  
鎌田 英男



いわみ中央地区本部

常務理事 本部長  
佐々木 豊



島根おち地区本部

理事  
三上 博通



島根おち地区本部

常務理事 本部長  
服部 幸信



石見銀山地区本部

理事  
厚朴 邦広



石見銀山地区本部

常務理事 本部長  
川上 隆



西いわみ地区本部

理事  
西川 友史



西いわみ地区本部

理事  
中村 力



西いわみ地区本部

常務理事 本部長  
田村 清己



いわみ中央地区本部

理事  
佐々木重盛



いわみ中央地区本部

理事  
藤若 将浩



監事  
倉橋 英二



監事  
三島 滋夫



常勤監事  
福田 克則



常勤監事  
嘉本 智美



代表監事  
黒谷 幹雄



雲南地区本部

執行役員副本部長  
佐藤 善雄



くにびき地区本部

執行役員副本部長  
中村 隆



員外監事  
利弘 健





# JAしまねトピックス

★shimatopi★



topics  
1

## 農事組合法人ふくどみ 全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受賞！



出雲市斐川町で大豆、水稻、麦類を生産する農事組合法人ふくどみが、JA全中とJA新聞連が主催する第50回全国豆類経営改善共励会の「大豆集団の部」で最高位の農林水産大臣賞を受賞されました。7月14日にJAしまね斐川地区本部で表彰式が開かれ、中国四国農政局の及川仁次長から、同法人の佐野芳夫組合長に表彰状が手渡されました。

同法人は平成22年に設立し、17戸の農家で構成。令和3年の大豆生産面積は13.6haで、収量は10aあたり228kg（過去5年は228～279kg）と県平均の2倍以上を達成し、上位等級比率も90%以上と多収、高品質の両方を実現されました。

2年3作体系のブロックローテーションに取り組み、耕地利用率は144%。オペレーターを務める高橋智和理事が工夫した農機によって、弾丸暗渠施工（80cm間隔）時に石灰窒素の深層施肥を同時に行うことができ、大豆の一生で一番養分の吸収が多い開花期以降の窒素供給が可能になりました。また、RTK-GNSS基地局を活用したトラクターの直進機能を使うことで、播種精度と中耕除草機の作業精度を向上させるとともに、的確な除草剤使用と併せた生育初期からの除草を徹底する等の取組みが多収・高品質の大豆生産に繋がったと評価されました。

佐野組合長は「高橋オペレーターの創意工夫の賜物。斐川の大豆栽培が全国で注目される機会になり嬉しい」と話されました。



受賞を喜ぶ佐野組合長（中央）、高橋理事（左）、構成員である出雲市斐川土地改良区の遠藤泰夫理事長

topics  
2

## 県青協がJA青年大会を開催！



島根県農協青年組織協議会は6月28日、邑南町で2022年度島根県JA青年大会を開きました。JAしまねの各地区本部の青年連盟から10人が発表し、青年の主張の部は、島根おおち青年連盟の寺本直人さん、組織活動実績発表の部は石見銀山青年連盟の坂根拓倫さんが最優秀賞に輝きました。

寺本さんは「僕にとって農業とは？」と語りかけながら、職場体験にきた高校生から受け取った手紙をきっかけに、自分自身に起こった気持ちの変化について発表。審査員長を務めた家の光協会西日本普及文化局の岡本忠副局長は「農業には人生を変える・豊かにする力があると明確な主張があった。また、次の若い世代の人たちにつながるような強いメッセージも含まれていた」と講評しました。

坂根さんは、古くから地域に愛されているポン菓子加工や農林大学校との交流などの活動を発表。コロナ禍でも工夫をこらしポン菓子加工を続けていることや、農大生との交流会をきっかけに体験学習の受け入れなど活動の幅が広がったことを話しました。また今年から40歳以上のJA役職員との農作業交流を始め、農業者とJAが改めて互いを理解する場となっていることを報告しました。岡本副局長は「組織活動が次世代の後継者の育成に繋がっている素晴らしい事例の発表だった」と講評しました。

2人は11月14日に高知県で開かれる中国四国地区JA青年大会に出場します。

その他の入賞者は次の通りです。

▽青年の主張の部優秀賞＝佐々木貴裕（いわみ中央青年連盟）

▽組織活動実績発表の部優秀賞＝伊藤尚幸（斐川青年連盟）



賞状を手に喜ぶ受賞者ら（前列中央4人）

topics  
3

## 家の光文化賞農協懇話会 第7回懸賞論文で優良賞を受賞！



家の光文化賞農協懇話会が取り組む第7回「懸賞論文」の審査結果が発表され、全国のJA役職員から応募があった中、JAしまね本店ふれあい福祉課の熱田由香職員の論文「持続可能なJAづくり～教育文化活動の現状と課題を考える」が優良賞を受賞しました。

熱田職員は、持続可能な農業・JA・地域の未来を創るためには、教育文化活動によって組合員・利用者・地域住民と“つながる”ことが最重要課題であると強調。来店したくなる支店を目指しJA役職員と女性部員が「一緒に」美化活動などに取り組む「おもてなしプロジェクト」のような「協同活動」「共働活動」の促進や、JAの総合事業について学び、農業体験を通じて農作業の大変さを「一緒に」体験するなど、組合員とJA役職員が「一緒に」学ぶ「協同（共働）大学」の開講を提案し、持続可能で地域に輝くJAの実現に向けた取り組み強化を訴えました。

同会では、JA全国大会の開催に合わせ3年に一度、教育文化活動をテーマに入れた論文を募集し、今回は「持続可能な農業・JA・地域の未来を創る～教育文化活動の役割と10年後のめざす姿～」をテーマに全国から18編の応募がありました。



表彰状を手にする熱田職員

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。



# 信用手数料変更のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

**令和4年10月1日(土)**から、**手数料を変更**させていただきます。

当JAでは今後とも、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 変更内容

### ◆現金取扱手数料 (消費税含む)

両替、金種指定払出、大量硬貨入金手数料 (窓口) ※渉外担当扱いも含まれます。	1~50枚	無料
	51~500枚	550円
	501~1,000枚	1,100円
	1,001~1,500枚	1,650円
	以降500枚ごと	550円加算

- ◇**個人および法人を含むすべての利用者の方で、窓口での該当のお取引をいただく際、手数料をいただきます。**
- ◇新札への両替および新札での金種指定払出を含みます。
- ◇金種指定払出手数料のお取り扱い枚数は、お引出し総枚数から万円券を除いた枚数で計算します。
- ◇両替のお取扱枚数は、ご持参(両替前)の枚数、お持ち帰り(両替後)の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。
- ◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
- ◇硬貨枚数を確認した後に、お手続きを取りやめる場合や、金額を変更される場合も手数料をいただきます。
- ◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきますので、可能な限り、お一人(一団体)様1日1回でお取引願います。
- ◇募金・義援金等にかかる大量硬貨入金および、汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。
- ◇当日中でのお手続きが困難な場合や窓口の混雑が予想される場合は、大量硬貨でのお取引をお断りする場合があります。

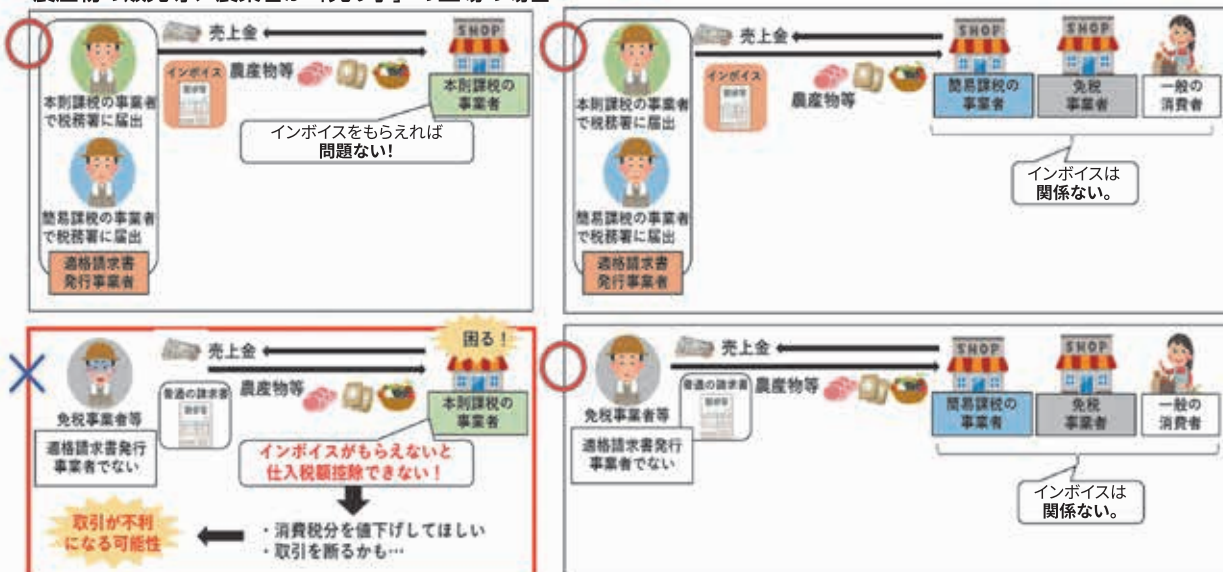
手数料については、店頭もしくは、JAしまねホームページ掲載の「信用手数料一覧」でもご確認いただけます。



## Q 農産物の販売等、農業者が「売り手」の立場の場合の留意点について教えてください。

**A** 農業者が適格請求書発行事業者の場合、本則課税の事業者から「適格請求書(インボイス)」の発行を求められたら発行する義務がありますが、一方、農業者が免税事業者等の**適格請求書発行事業でない場合、「適格請求書(インボイス)」の発行ができない**ため、本則課税の事業者は仕入税額控除ができなくなります。そのため、「消費税分を値下げしてほしい」、「取引を断るかも・・・」等、**取引が不利になる可能性**が考えられます。

### 農産物の販売等、農業者が「売り手」の立場の場合



(注) 本則課税、簡易課税の農業者であっても、自動的に「適格請求書発行事業者」になるわけではありません。税務署に届出をしないと「適格請求書発行事業」になれませんのでご注意ください。



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

## やすぎ女性部

令和4年度は、JA女性組織3年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践初年度です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう✿

(仲間と・地域と・他組織と・次代と)

新型コロナウイルス感染拡大から2年、安来市内でも感染が確認され、支部内では活動らしい活動ができず、女性部主催の「女性倶楽部」も開講できませんでした。

そんな中、JA女子大6期生OGを新たに加えたフレッシュミズ部会「かぐやひめ」は、料理教室をクッキングショーにしたり、味噌作りを味噌配布に切り替えたりと感染対策に取り組みながら活動しました。他にもガラスアートや樹脂粘土の干支の寅作り、街探検&ミカン狩り、プリザーブドフラワーのコサージュ作りと感染対策に配慮しつつ、地元企業との関わりを持ちながら、季節を取り入れた企画を年6回実現しました。

昨年度は、女性部とフレミズとの交流があまりできませんでした。今年度はお互いの活動に参加し合いながら、より一層JAしまねやすぎ女性部の“つながり”を大切に活動していきます。



一所懸命青年連盟

## JAしまねくにびき青年連盟

JA YOUTH

おおにし たかひろ  
大西 貴広さん



地産地消に取り組み、  
農業を通して、  
地域に  
貢献していきたい。

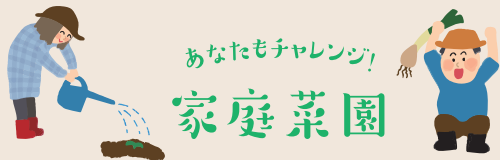
JAしまねくにびき青年連盟(以下、農青連)に加入している大西貴広さん(41)。松江市浜佐田町で水稻や野菜を栽培する農業生産法人に勤務しています。大学卒業後は他産業の事務員として働く一方、自然と触れ合える仕事に興味を持っていた大西さん。退職を機に農業体験として研修を受け、代表からの誘いもあり現在勤めている法人への就職を決意。現在では経営の中でも欠かせない存在となっています。

勤務先の法人は市内の産直市場にも数多く出荷し好評を得ています。大西さんは「農産物は新鮮さに敵うものはない。消費者や仲卸などバイヤーの要望に応えられ、沢山の農産物を販売できたときにやりがいを感じる。ぜひ、産直市場で我々農業者が丹精込めた品を手にとってほしい」と産直への強い想いを語ります。

農青連へは視野を広げた方がよいとアドバイスを受け、平成23年に入会。「同じ農業者がこんなにいるのか。全国では盟友がレベルの高いことに取り組んでいる」と刺激を受けたそうです。また委員を務めるなどの経験も現在の農業での活躍に繋がっています。

大西さんは「農業は異常気象など予想しないことが起き、その対応に苦勞するが、今後も消費者などの期待に応え、満足していただけるよう、よいものを作り続けていきたい」と抱負を語りました。





# チンゲンサイ

園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## シャキシャキとした歯触りを楽しむ

チンゲンサイ（青梗菜）は代表的な中国野菜で、ビタミンやミネラルを豊富に含みます。日本の野菜では「体菜」に似ています。中間地では冬を除き、春から秋まで栽培ができます。

### 品種

「青帝」（サカタのタネ）、「ニイハオ新1号」（渡辺農事）などがあり、「長陽」（タキイ種苗）、「夏賞味」（武蔵野種苗園）は、暑さに強い夏向きの品種です。「シャオパオ」（サカタのタネ）は、小さいので丸ごと料理に使えます。

### 畑の準備

種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料（NPK各成分10%）100gを施し、土とよく混ぜておきます（図1）。次に、幅1m程度、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

### 種まき

一般にはじかまきします。高温期の春夏まきでは条間20cm、株間20cm、秋まきでは条間15cm、株間15cmに1カ所4、5粒を点まきします（図2）。発芽まで土が乾かない

程度に灌水（かんすい）をし、発芽後は土が乾いたら水をたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。苗作りをするには、小型ポットや連結ポットで本葉3、4枚の苗に仕立てます（図3）。種まき（植え付け）後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

### 間引き

1回目は発芽そろい後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚で1本にします（図4）。

### 病害虫防除

基本は防虫ネットで害虫防除をしますが、農薬では、アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤

CTなどのBT剤を使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。

### 収穫

草丈15~20cmくらい、尻が張り始めた頃に、地際から切り取って収穫を始めます（図5）。

### 栽培カレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				春まき	●	■		秋まき	●	■		
中間地			春まき	●	■			秋まき	●	■		
暖地	春まき	●	■					秋まき	●	■		

● 種まき    — 生育    ■ 収穫

図1 畑の準備



図2 種まき（秋まき）

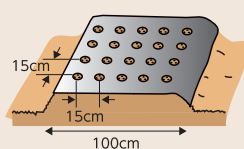


図3 苗作り

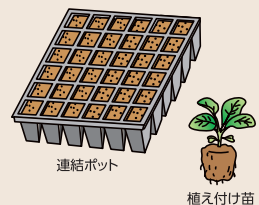


図4 間引き

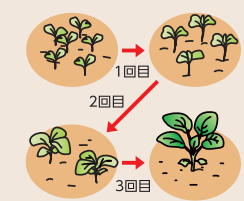
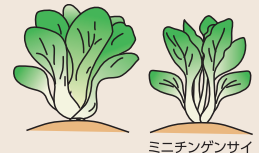


図5 収穫



## 《金融部より》



J A等の職員を名乗り、訪問や電話で、お客さまのキャッシュカードを預かったり、暗証番号等を聞きだす、さらには現金を引出す事件が発生しています。詐欺被害にあわないためにご注意ください。

- ・暗証番号は、他人に知られないように管理して下さい。
- ・暗証番号等を聞き出そうとする電話等には一切答えない下さい。

### （6月22日開催）【協議事項】

- ①令和4年度J Aしまね飼料・肥料高騰対策（案）について
- ②J Aしまね肥育センターの今後の方向について

③職制規程の一部改正について

④第8事業年度業務報告書について

⑤飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議について

### （6月26日開催）【協議事項】

- ①役付理事の選任について
- ②代表理事の選任について
- ③特定理事の選任について
- ④常務理事の職務代理順位について
- ⑤常務理事の担当業務の決定について
- ⑥理事の個別役員報酬額の決定について

⑦執行役員の選任について

⑧執行役員の個別報酬額の決定について

⑨退任役員に対する退職慰労金の支給について

⑩系統団体および関連団体等への役員就任について

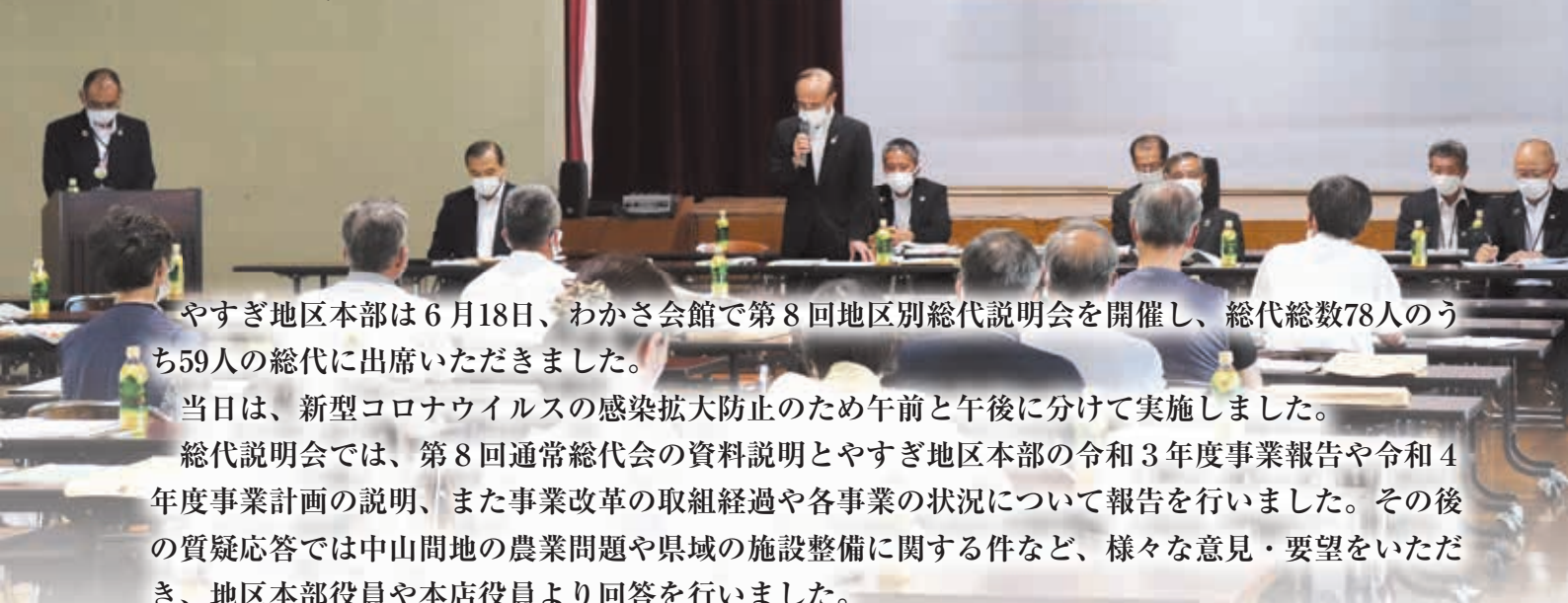
⑪役員賠償責任保険への加入について

⑫専門委員会の委員選任について



# 第8回地区別総代説明会、 第8回通常総代会開催

J Aしまね やすぎ地区本部 総代説明会



やすぎ地区本部は6月18日、わかさ会館で第8回地区別総代説明会を開催し、総代総数78人のうち59人の総代に出席いただきました。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため午前と午後に分けて実施しました。

総代説明会では、第8回通常総代会の資料説明とやすぎ地区本部の令和3年度事業報告や令和4年度事業計画の説明、また事業改革の取組経過や各事業の状況について報告を行いました。その後の質疑応答では中山間地の農業問題や地域の施設整備に関する件など、様々な意見・要望をいただき、地区本部役員や本店役員より回答を行いました。

6月26日にはJ Aしまね第8回通常総代会を島根県民会館で開催し、全議案を審議承認いただきました。

今回、役員改選も行われ、J Aしまねの新たな運営体制の承認をいただき、やすぎ地区本部関係では、代表理事副組合長に山根盛治氏（再任）、やすぎ地区本部業務理事本部長に中尾武氏（新任）、理事に上廻達矢氏（新任）が就任されました。

## ■ 組織概要

(令和4年3月末時点)

組合員数 (単位：組合員数)	正組合員	5,288
	准組合員	8,051
役員数	理事 (うち常勤1人)	2人
	地区運営委員	20人
職員数	正職員	128人
	その他	68人

## ■ 令和3年度 財務・事業実績

(単位：百万円)

区分	項目	金額
財務	事業利益	10
	経常利益	86
	当期剰余金	72
信用事業	貯金	68,728
	貸出金	16,438
共済事業	長期共済保有高	220,525
	短期共済新契約掛金	542
購買事業	購買品供給高	1,251
販売事業	販売品販売・取扱高	2,729
業績還元実施額		1

## やすぎ地区本部 令和4年度事業計画<基本方針>

J A自己改革の目標である農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に向けた取り組みを進めることを基本とし、行政機関等と連携した新規就農者の育成支援や営農組織の設立・運営支援、安心・安全な農畜産物の生産販売等に継続的に取り組みます。また、ライフイベントに応じた資金提供や資産形成、将来への備えに関する提案や健康な暮らしのお手伝いになるよう健康管理活動に取り組みます。

そして、安定的な経営基盤の確立に向けて、地域の実情を考慮しながら事業収支改善の観点から必要な見直しを進めます。

## J Aしまね本店 第5期役員 所信表明



代表理事副組合長  
山根 盛治

平成十六年六月、JA やすぎに常務理事として就任してから早十八年が経過しました。その間、経済事業改革に始まり、支所統合、代理所の廃止、農業事業改革等に取り組み、JAしまねの誕生を迎えました。そして合併から七年五か月を経過しましたが、満足のゆく合併メリットは達成していません。三期目の副組合長になりますが、JAしまねが成すべき課題に全力で取り組みます。

これからも、地域に必要とされる協同組合になるよう、農業者所得増大に努力し、生産拡大と地域貢献を柱に、資源を生かした自然循環型農業の実現に尽力してまいります。

## J Aしまねやすぎ地区本部 第5期役員 所信表明



常務理事本部長  
中尾 武

この度の役員改選によりやすぎ地区本部長に就任しました。

コロナ禍等による消費の減少に起因する農産物価格の低下や輸入原材料の高騰や急激な円安による生産資材価格の大幅な上昇、農業従事者の減少など地域農業や協同組合を取巻く環境は大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、健全な経営によるメリットの創出と信頼される農協組織に向けて努力し、地域にとって必要とされる組織としての利用の拡大に繋がるよう精一杯取り組んでまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



理事  
上廻 達矢

この度の役員改選により、やすぎ地区本部理事を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。

現在、農業を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。

この様なご時世だからこそ、組合員の皆様、ご利用下さる方々のお声にしっかり耳を傾け、農業協同組合として必要とされ、貢献できるような精一杯努力していきます。今後ともどうか、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



# J A しまねやすぎ地区本部 役員退任挨拶



前常務理事本部長  
伊藤 精一

この度、六月二十六日の第八回通常総代会をもちまして、任期満了により理事職を退任いたしました。振り返ってみますに、平成十六年に常勤監事としてJAの役員に就任以来、常勤監事六年、常勤理事十二年、通算十八年間役員として業務に携わってまいりました。中でも、平成二十七年三月のJAしまね誕生に役員として関わってきたことは、自分の中でも大きな出来事だったと思っています。事業展開の中で、合併メリット還元を第一義に組合員の皆さんから、JAがなくてはならない存在として認めていただけるよう

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化」に努めて参りました。そうした中、なんとか無事任期を全う出来たことは、ひとえに組合員の皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝を申し上げます。

現在、農業、JAを取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、組合員の皆様方が、JAと共にこの難局を乗り切っていかれる事と、皆様方今後益々のご健勝を祈念いたしまして、退任にあたりましての御礼の挨拶とさせていただきます。長い間ご支援頂きありがとうございました。



前理事  
根来 茂樹

この度、やすぎ地区本部の理事を退任いたしました。

在職中は組合員並びに地区の皆様の大なご支援、ご厚情を賜りました事に心より感謝申し上げます。

現在、農業を取り巻く状況は依然厳しさが続いています。その中であっても農業は、『永遠不滅の生命産業』である矜持を持って、農業に向き合っている皆様方の声を真摯に受け止め、共に考え形にし、共生していくのが一番の仕事と、日々頑張っているのが農協です。今後も新体制のもと、組合員の信頼に応え、我々の拠り所となり続ける事を祈念いたします。ありがとうございます。



## 赤屋小と新田谷地区 サツマイモ定植



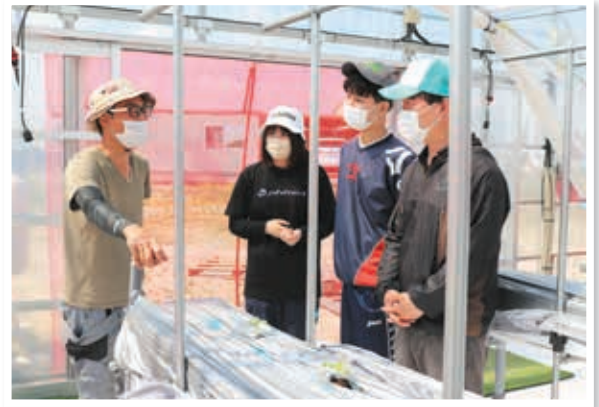
安来市立赤屋小学校の1～4年生11人は6月1日、伯太町下小竹の新田谷地区の皆様やJA職員と一緒にサツマイモ「紅はるか」の定植を行いました。毎年、同地区では食農教育の一環として、児童が定植体験できるように事前に畝たてやマルチ張り、圃場管理などをおこなっておられます。また、当日はやすぎ地区本



部の営農指導員が児童に苗の植え方などを指導しました。児童らは竹の棒を使って1つ1つ丁寧に苗を押し込んで植えていき、その後水やりと土かけを行い、約1,000本を定植しました。初めて定植を体験した1年生は「たくさん植えて楽しかった。秋のイモ掘りも楽しみ。」と話し、これまで経験を積んできた4年生は「毎年体験させてもらえて、地域の皆さんに感謝です。」と話し、近くで聞いておられた新田谷地区の方も大変喜んでおられました。

## JA新入職員 農業実習

やすぎ地区本部の新入職員3名は5月23日からの3日間、やすぎ青年連盟の盟友の農場3カ所での農業実習を行いました。1日目はいちごのランナーを取る作業、2日目は白ねぎ畑の草取り、メロンの芽かき作業、3日目はチューリップの球根掘り作業を体験しました。3日間ともに天候に恵まれて作業も順調に進み、しっかりと農に触れることができました。実習を終えた新入職員は「農業実習を通じて様々な体験をすることができ、農への考え方や捉え方が変わりました。この経験を活かして今後の仕事に向き合いたいです。」と話しました。



## ファームよしだ玉ねぎ収穫機実演会

安来市下吉田町にある農事組合法人ファームよしだで6月20日、玉ねぎを栽培する生産組合法人や、県、市、JAしまねなど、関係者が見守る中、玉ねぎの収穫機「オニオンハーベスター」を使った実演会が開催されました。同法人では、今作は1ヘクタールの面積に「スパート」「ターザン」の2つの品種の玉ねぎを作付けしました。

実演された「オニオンハーベスター」は玉ねぎを拾い上げ、茎葉（けいよう）を切り大型コンテナに収容するまでを一括で行える大型機械で、県内でも、ファームよしだだけが4経営体目の導入となります。今作は40トンの収穫を見込んでおり、同法人の関係者は「除草、病害虫防除を徹底したため、品質の良い玉ねぎができました。一連の機械化体系により、大面積に対応できるようになり、今後も作付面積を拡大していきたい。」と話しました。





## 安田小 バケツ稲体験

安来市立安田小学校の5年生18名は6月9日、体験学習の一環としてバケツ稲体験を行いました。当日はJA職員が持参した土を使って、苗の植え方を指導し、児童が教わりながら一つ一つ植えていきました。その後、JA職員が紙芝居で米の成長と食べるまでの過程について説明し、時折クイズを交えながら安来市で作られる品種や日本人が年間食べる米の量など児童は一所懸命メモをとり、米について理解を深めました。初めて体験した児童は、「土が2層になっていることに驚きました。教えてもらったように水や、雑草の管理をして、一粒でもたくさんお米ができたら嬉しいです。」と話しました。



## GCはしま店誕生祭開催

グリーンセンターはしま店は5月27日から29日まで誕生祭を開催し、多くの来場者で賑わいました。

誕生祭イベントは、直売部会から買い物客へのプレゼント企画が実施されました。部会員らが持ち寄った自慢の野菜や果物、加工品などを買い物客を終えた客に、日頃の感謝の気持ちを込めて手渡していました。買い物客は「新鮮で旬な野菜や果物が買えるので日頃から利用しています。今日はプレゼントがあって驚きました。」と喜ばれていました。

はしま店は2007年にオープン。14年にリニューアルを経て現在の店構えとなっています。永澤幸宏店長は「これからも新鮮で美味しい農産物を取り揃え、皆様の身近なお店として頑張りたい。」と意気込んでいました。





安来の元気な子ども達を紹介します！

MIRAI  
KIDS

# 未来の 主役 たち

かなと  
渡邊叶都くん(4さい)

みおり  
実音莉ちゃん(2さい)



叶都くんは元気いっぱいの明るいお兄ちゃん。保育園でもお家でも走り回ってパワー全開！今は、バツに夢中で、家の作業場でバツを飼っているんだって。

バツについて、色々お父さんと調べて、ヨモギの葉っぱがいいと知って、ヨモギを与えたり、霧吹きを使って水分を与えたりしているんだって。昆虫図鑑を見て、虫の名前を覚えるのが得意なんだって。取材の日は大雨で、叶都くんは「雨のときはヒメギスがいるんだよ」と教えてくれたよ。食べ物ではぶどうとお母さんの作る親子丼が大好き。大きくなったら、虫の研究がしたいんだって。

実音莉ちゃんは、明るくて笑顔が可愛い女の子。負けず嫌いの性格で、お兄ちゃんとケンカになっても、負けないんだとか。YouTube（ユーチューブ）が好きで、音楽が流れると、集中して観ているんだって。今は鬼にはまっけていて、鬼が出てくるのはなんでも好きなんだとか。食べ物はしじみ汁と魚が大好きなんだって。大きくなったらママみたいにになりたいんだって。

コロナが収束したら、愛媛県のおじいちゃんの家遊びに行きたいんだって。早くいけるといいね。

～お父さん・お母さんより～

「いつも元気な叶都と実音莉の笑顔に日々パワーをもらっています。たまにケンカもするけど2人とも明るく優しいお兄ちゃん、お姉ちゃんになれるよう兄妹助け合いながら育ててほしいです。」

伯太町安田地区に「コウノトリ」が飛来していると、組合員さんから情報が入り撮影に行きました。

コウノトリは通称、「幸福を運ぶ鳥」として知られています。ロシア極東地域から、中国、韓国、日本などに約2,000羽あまりしか生息していない貴重な鳥です。ツルやサギのような姿で、大きさは立った状態の体高で約1メートル、両翼を広げると約2メートル。

体重は4～5キロほどあるようです。体全体は白く、くちばしと羽のうしろ側にある風切羽が黒いことがコウノトリの特徴です。主に川や田んぼに生息するドジョウ、フナ、カエル、ヘビ、バツなどを食べるようです。

初めて実物のコウノトリを見ましたが、想像以上に大きく、がっしりとした印象を受けました。少々の物音には全く動じる気配は無く、堂々としていました。

この田んぼを管理する安田ファームの代表宮本重徳さんによると「大型圃場になって8年だが、ここ数年飛来してきている。田植えの6月ごろから、中干しする7月下旬までの楽しみです」と話しておられました。





# やすぎから全国へ

安来市伯太町の田口好美さんの牛「ひみましゅひめ号」が10月6日から5日間行われる「第12回全国和牛能力共進会」（通称=全共）に出場することになりました。

この全共は5年に1度、全国の優秀な和牛を一堂に集めて改良の成果やその優秀性を競う大会です。

「ひみましゅひめ号」は父牛「久茂福」、母牛「ひみきよひめ7号」から造成された雌牛で、父母とも島根県内種雄牛の血統で冠名の「ひみ」は能義育種組合の育種牛を意味する名前であり、「ひ」は彦右衛門蔓牛、「み」はみつわ系を表しています。

出品牛「ひみましゅひめ号」は令和3年2月10日生

まれで、今回の出品区分は「若雌の第3区」となります。

※出品区 若雌3区（17カ月～20カ月未満）

「ひみましゅひめ号」を飼育する田口さんによると、「生まれてから発育も順調であり、骨格のしっかりとした牛で、食欲も旺盛で病気もなく順調に育ってきました。他の牛と比べると、背中が真直ぐで、躰の長さ、後ろ足がしっかりとしており、引き運動や、保定（牛を繋いで一定時間直立させ静止させる事）に早い段階から取り組み、足腰の強化に努めました。まだ課題点もあるが、本大会まで適切に管理し上位入選を目指しています」と話されました。



令和4年8月から  
220円の値下げ

月額料金 **2,403円** (税込み)

※7月までは2,623円（税込み）です。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  
日本農業新聞 電子版

機能と使い方



Q&A  
(よくある質問)



## 電子版でできること

- いつでも、どこでも**  
スマホやタブレットで、情報収集ができます。
- 過去記事検索が30日分**  
見逃した記事もさかのぼって読むことができます。
- クリップ機能で記事を保存**  
気になる記事を最大200件まで保存できます。

## 紙面ビューアーの特長

- 読みやすさ、そのまま**  
いつもの紙面と同じレイアウトです。
- 文字を大きく**  
紙面を拡大・縮小できます。
- 紙面丸ごと印刷できる**  
大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。

電子版は  
朝5時配信！



●初回のみ、購読開始月は月末までの料金がかかりません（無料期間中の解約はできません）。●電子版のみの料金です。紙版を併せて購読する場合は紙版の購読料が別途、発生します。●電子版は個人向けサービスです。法人プランはございません。なお、法人代表者が個人でお申し込みいただくことは可能です。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、お近くのJAまでご相談ください。



# 『安来の梨』 直売所オープンのお知らせ

今年も梨のシーズンを迎え、JAしまね安来梨選果場では梨の直売所を下記の通りオープンいたします。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

- 日程** 令和4年8月24日(水)～9月12日(月)
- 時間** 午前10時～午後3時まで  
初日8月24日のみ13:00から
- 場所** 安来梨選果場 (下坂田町1027-1)
- 内容** 梨の直売、および進物の地方発送受付。

お問い合わせ先 安来梨選果場  
TEL: 0854-22-3755 (FAX兼)  
やすぎ地区本部 生産流通課  
TEL: 0854-28-7800  
FAX: 0854-28-6780

## 人事異動

- ◎新規採用 (令和4年8月1日付)  
▼営農経済部自動車課  
田中 大樹 (臨時職員)

## 税務相談会日程

- 安来東支店 9月2日(金)10時～12時
- 伯太支店 9月2日(金)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 9月16日(金)10時～12時

## 9月の外務日は

**14日(水)・15日(木)**

担当職員がお伺いします。

JAカード  
限定

JA直売所のご利用が

2022年  
9月・10月  
**15%**相当  
おトク!

《JA直売所》

グリーンセンター  
はしま店・ひろせ店

美味満彩  
なかうみ菜彩館

詳細は外務チラシをご覧ください。



## 市況動向

島根中央子牛市場  
(単位: 円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	605,200	1,133,000	585,200	657,250	574,920
	頭数	10	2	6	18	84
	最高価格	776,600	1,654,400	731,500	1,654,400	1,654,400
ヌキ	平均価格	716,980	744,700	673,200	706,791	683,712
	頭数	5	3	5	13	124
	最高価格	837,100	881,100	814,000	881,100	936,100
総平均価格		642,473	900,240	625,499	678,025	639,777
合計頭数		15	5	11	31	208

### 7月子牛市場県外移出頭数

	山口県	宮崎県	滋賀県	兵庫県	佐賀県	三重県	鳥取県	その他	合計	県外移出率
雌	23	3	15	11	8	10	4	14	88	51.46%
去	32	23	5	7	4	0	2	2	75	37.69%
合計	55	26	20	18	12	10	6	16	163	44.05%

### 肥育センター5等級評価牛 (7月出荷分)

血統	種別	枝重	格付	BMS	備考
美津照重一花之國一百合茂一平茂勝	去勢	513.0	A5	12	
耕富士一福晴美一安平一隆美	去勢	515.5	A5	9	
茂久桜一百合茂一勝忠平一安平	去勢	527.0	A5	12	
諒太郎一安福久一百合茂一安福165の9	去勢	559.2	A5	11	
若百合一安福久一勝忠平一茂重桜	去勢	520.6	A5	12	

### 全国“統落”本県・隠岐西部“統落”中央“反発”取引き

令和4年7月の全国主要子牛市場平均価格(全農・畜産生産部7月22日現在速報)は、雌591,300円(前月比98%)、去勢692,895円(前月比99%)、計648,558円(前月比98%)で“統落”の取引きとなっています。

本県7月の子牛市場は隠岐・西部・中央で開設され755頭の取引きがあり、平均価格は隠岐市場480,100(前回比77千円安)で“統落”、西部市場543,575円(前回比44千円安)で“統落”、中央市場639,777円(前回比59千円高)で“反発”の取引きとなりました。

隠岐市場は年3回の開設のため上場牛の月齢・体重にバラツキがありました。西部、中央市場の上場牛では一部発育の良い牛も見られましたが、全体にバラツキが大きく、入念な飼養管理の必要性が見受けられました。

肉相場においては、需要期に入っているものの買い気は弱く、外食ニーズが回復しないまま再びコロナ感染が拡大してきていることで大きな影響が懸念されます。また、ウクライナ情勢による穀物、乾草、稲わら価格の高騰が肥育農家の経営を圧迫しています。畜産農家・関係団体と一体になり、和牛肉消費拡大によりこの難局を乗り切りましょう。今月の『しまね和牛子牛飼育の手引き』に係る名簿内記載『M表示』は21頭で総入場頭数の2.7%でした。



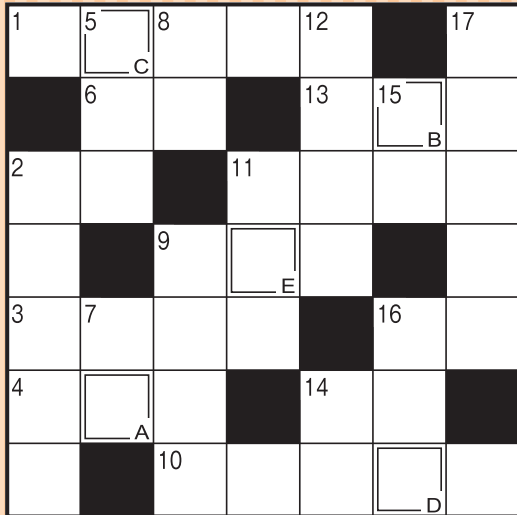


CrossWord Puzzle

# クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A B C D E

## タテのカギ

- ②令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です
- ⑤秋は稲や粟、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です
- ⑦竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑧幸水や豊水が広く作られています
- ⑨『赤ずきん』ではおばあさんに化けました
- ⑪節約のために——簿を付け始めた
- ⑫楽団の前でタクトを振ります
- ⑭お彼岸には掃除に行き手を合わせる人が増えます
- ⑮ピンチなんです！
- ⑯長く続けると足がしびれることも
- ⑰——コーヒー、——フットボール

## ヨコのカギ

- ①女郎花と書く秋の七草。同じ——科の植物にオトコエシというのがあります
- ②頭隠して——隠さず
- ③すいっちょんと鳴く虫
- ④インフレのときに上がります
- ⑥贈答品に付けます
- ⑨風が吹くともうかるかも
- ⑩フェルメールの代表作『真珠の——の少女』
- ⑪店の中に他の客はいません
- ⑬葉の——は徐々に表れた
- ⑭紙を燃やすと残ります
- ⑯10を3回掛け合わせると



## 応募要項



### ●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

### ●賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

### ●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### ●宛先・締切

〒692-0014 安来市飯島町1205-1  
J Aしまね やすぎ地区本部 総務課 「クイズ」係  
2022年9月2日（金）（当日消印有効）

### ◆先月号の答え◆

#### 「アワオドリ」



## 佳作

順調に育っています反抗期  
何時の間に子供になった蜜狩  
暑いねと会う人ごとの合言葉  
つばめ来てカラスと戦う親とじじ  
連れ添ふて時に衝突半世紀

松江市 佐藤 正子様  
浜田市 小林 定雄様  
出雲市 佐藤 勝枝様  
出雲市 高橋 幸子様  
津和野町 田中とよし様

未だ喜寿と趣味が青春続けさす

出雲市 大福 利彦様

主婦業も休暇願いを出す猛暑

出雲市 多久和敬子様

カタカナ語増えて昭和は生きづらい

浜田市 岩本 静代様

## 優秀賞

（評）傘寿とは八十歳のこと。父母よりも長生きした作者、句の中の「父母の知らぬ景色」という、フレーズが佳い。

父母の知らぬ傘寿という景色

出雲市 北村 功様

## 最優秀賞

川柳の広場

選句者 島根県川柳連盟会長  
竹治ちかし先生

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！



J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
J Aしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
F A X : 0852-67-7708  
Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

# 知らないと損！農業者年金で税金対策



## まず農業者年金ってなに？

サラリーマンの年金 (厚生年金)	報酬比例部分(老齢厚生年金) 国民年金(老齢基礎年金)	2階立て
農業者の年金 (国民年金のみ)	国民年金(老齢基礎年金)	1階立て
農業者の年金(国民年金+農業者年金)	農業者年金 国民年金(老齢基礎年金)	

農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。

## 農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。

保険料は月額2万円から6万7千円の中で自由に選択できます。その支払った**保険料全額が社会保険料控除となりますので、その分課税対象所得が下がり税金が安くなります。**

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その**合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除**できます。

## 保険料の前納納付を活用し、税金対策を。



今年は豊作で収入が良かったな…  
だけど税金が多くかかるのでは…  
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も**全額社会保険料控除**に使える！

### 注意点

**11月15日が前納申し込み期限**ですので、翌年の3月の確定申告で社会保険料控除として申告を考えている場合は、それまでにJAの窓口で申し込みをする必要があります。

よって**11月初旬に今年の売上のチェックが必要！！**

詳しい内容のお問合せは…

**お近くの農業委員会・JAへ！！**

## でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…

**国民年金  
第1号  
被保険者**  
国民年金保険料  
納付免除者を除く

**年間60日以上  
農業に従事**

**60歳未満**

の方なら**どなたでも**加入できます。

## ハチを見かけたら巣づくり警報!

**無料調査**  
**ハチ駆除**

**近寄らず、触らず!!**  
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

**最寄りのJA各支店に  
お問い合わせください**

### 取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

**Kodama 株式会社 コダマサイエンス**

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■出雲営業所/☎0853-31-9600

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■江津出張所/☎0855-52-6852

■隠岐営業所/☎08512-2-2471





## \* 南瓜と豚肉の甘辛焼き



### コメント

- ・酢の隠し味でいつもと一味違う南瓜料理に変身!
- ・さっぱりとした味は、お弁当のおかずやおつまみにも最適です。

### アレンジ

- ・南瓜はレンコン、さつま芋、人参、ごぼう等の根菜類に替えても美味しくできます。
- ・豚肉を鶏肉や牛肉、厚揚げに替えても、また南瓜だけでもOKです!

### 材料 (4人分)

- 豚肉 (小間切れ) …… 250g  
 塩こしょう …… 少々  
 小麦粉 …… 大さじ1  
 南瓜 …… 1/4 個 (約300g)  
 サラダ油 …… 大さじ1  
 A 濃口醤油 …… 大さじ2  
 砂糖 …… 大さじ1  
 酢 …… 大さじ1  
 コチジャン (お好みで) …… 小さじ1  
 白ごま …… 大さじ1  
 細ねぎ …… 2~3本  
 青じそ …… 4~5枚

### 作り方

- ①ビニール袋に小麦粉と塩こしょうを入れて振り混ぜ、そこに肉を入れて粉を薄くまぶし付ける。
- ②南瓜は厚さ0.5~1cmの食べやすい大きさに切り、耐熱皿に乗せて軽くラップをして、レンジ(600w)で4分間加熱する。
- ③フライパンに油を薄く引き①の肉を炒めて火を通し、皿に取り出しておく。
- ④③のフライパンに残りの油を入れ、②の南瓜を並べ、両面に軽く焦げ目がつくまで焼く。
- ⑤④のフライパンに取り出しておいた肉を入れ、混ぜ合わせたAを加えて弱火で絡める。
- ⑥白ごまを振りかけ、青じそを敷いた器に盛り、小口切りにした細ねぎをかけたら完成。

### 材料 (4人分)

- ピーマン …… 3~4個  
 人参 …… 1/2本  
 ハム …… 60g  
 春雨 …… 40~50g  
 乾燥わかめ …… 5g  
 白ごま …… 大さじ1  
 A しょうゆ …… 大さじ1と1/2  
 酢 …… 大さじ2  
 砂糖 …… 大さじ1  
 ごま油 …… 大さじ1

### 作り方

- ①ピーマン、人参、ハムは細せん切りにする。
- ②ピーマンは耐熱皿に乗せ、軽くラップをしてレンジ(600w)で1分加熱する。
- ③春雨は熱湯で戻し、食べやすい長さに切る。
- ④ボウルにAを混ぜ合わせ、材料全部を入れてあえたら完成。

## \* ピーマンの春雨サラダ

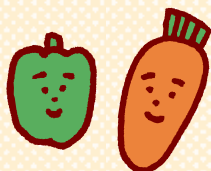


### コメント

- ・さっぱりとした味は、夏の箸休めに最適です。
- ・お弁当のおかずや作り置きの一品にどうぞ!

### アレンジ

- ・きゅうり、ゴーヤ、ズッキーニでも美味しくできます。
- ・ハムは、焼き豚や竹輪、ツナ缶、カニかまぼこに替えることで色々な味を楽しめます。



### JA島根厚生連

## 健康散歩

熱中症は例年7月から8月にかけて多く発生します。気温や湿度が高い、風が弱い、日差しが強いなどの環境で起こりやすくなります。体温調節の機能が正常に働かず、体内に熱がこもってしまったり、水分・塩分のバランスが崩れたりすることが主な原因です。症状は体温上昇・めまい・けいれん・頭痛などが挙げられ、命にかかわることもあります。特に、小児・高齢者・持病のある人・肥満の人・普段運動をしていない人は熱中症になりやすいので注意が必要です。

### 予防のポイント

#### (1) 暑さを避けること

- ・室内では扇風機、エアコンを上手に使いましょう。
- ・屋外では日傘や帽子を着用し、涼しい場所や日陰に入りましょう。

#### (2) こまめに水分をとること

- ・のどの渇きを感じなくても、水分・塩分・スポーツドリンクなどをこまめに補給しましょう。特に外出時には多めに準備しましょう。

### 日陰で休もう



## 熱中症を予防しましょう

### (3) 適宜マスクをはずすこと

- ・人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合や散歩・ランニングなどの運動時にマスクは必要ありません。

### (4) 日頃から健康管理をすること

- ・栄養や睡眠をしっかりとり、規則正しい生活をしましょう。
- ・定期的に体温測定や健康チェックを行いましょう。
- ・体調が悪い時は無理をせず自宅で静養し、外出を控えましょう。
- ・少しでも体調の変化を感じたら我慢しないで休憩し、まわりの人に伝えましょう。

### ウライときはマスクをはずそう



熱中症は気温の高い昼間に起きると考えがちですが、実は睡眠中にも起こりえます。睡眠中は知らないうちに汗が蒸発し、冬でも200ml前後、熱帯夜には500mlと、想像以上の水分を失っています。睡眠前にコップ1杯程度の水を飲み、手の届くところに水を準備して寝るようにしましょう。